



天野進吾が視る。語る。今日のできごと。まつりごと。

ホームページを見てください。http://www.amano-shingo.info

## 「バカ」の語源に見る……

日常最も使用される言葉の一つに「バカ」があります。漢字では馬鹿・莫迦などと書かれており、言葉の起源となると、はつきり致しません。

先週、知人の持っていた週刊誌に「時字放談」というタイトルで「馬鹿は頭が悪い」という意味ではない」という見出しで面白い記述がありました。

それによれば「馬鹿」の語源は中国の「指鹿為馬」という熟語から生れたとあります。即ち、鹿を指して馬と言う意味です。

秦の時代、或る野心家が皇帝の座を狙うにあたり、先ず無条件で自分に忠誠を誓う家来のみを選ぶ手法として、大広間に一匹の馬を引き出し、彼は指差して大声で叫びました。「これは鹿である」

家来達の中に「いいえ、馬です」と反論したものは即座に処罰し、「はい、鹿です」と答えた家来達だけを重要ポストに登用したのでした。

この逸話は「史記」に登場されている有名な話のことですが、「ばか」とは「頭が悪い」と云う意味ではなく「自尊心のない人間を指しておりました。

一方、私の手元にある講談社の語源辞典によれば「SAN スクリット語の「B A K A」もしくは「NOHA」の音写から転じた」と記載されております。さらにこの言葉は鎌倉時代末期から用例が見られ、無知、愚かさを意味していると書かれております。

このように今日では「バカ」の語源が中国かインドか、その典拠を明らかにすることは殆ど無理でありましょう。

さて、昨今の国政を思うとき、与党に席を置く私としては「怒り心頭に発する」日々であります。率直に云って麻生政権の脆弱さは、その閣内閣僚の面々を見ても、党執行部の人事についても、全て麻生総理に反駁できないNo.3に属する従順から始まったと言えます。

閣僚の面々を見ても、党執行部の人事についても、全て麻生総理に反駁できないNo.3に属する従順

### 大統領就任夜話

#### 二人の大統領に纏わる影

この度、オバマ氏の大統領就任式をテレビで見ながら、脳裡を掠めた「有名な挿話」をテーマとして記載します。

過去、最も著名な大統領といえは16代の「リンカーン」と35代の「ケネディ」でしょう。

その両大統領には以下に記すように「不可解な因縁」がありました。このことは04年2月に発行したShingo Scopeにも題材として取り上げておりますが、再度掲載いたします。

先ず1861年にリンカーンが、100年後の1961年にケネディが大統領に就任しましたが、両人とも初めて下院議員に当選した年は1846年と1946年の100年違いでした。この二人は大統領在任中、共に銃で背後から撃

たれ暗殺されました。しかもその日は金曜日、更に両人とも妻と同伴の時でした。

リンカーンの暗殺者ブースは劇場で狙撃して、倉庫に逃げ込みましたがそこで逮捕され、ケネディの犯人オズワルドは逆に倉庫から劇場に逃げ、即刻逮捕されました。しかもこの犯人の誕生も1839年と1939年、奇しくも100年違い、将に出来過ぎた背景に包まれております。序に犯人二人は裁判を受ける前に殺されたことは有名な話です。

暗殺によって誕生した後継大統領の名も共に「ジョンソン」であり、生れは1808年と1908年の100年違いでした。そして二人の世を去ったのです。

単なる偶然なのか、著名な二人の大統領を巡るミステリアスな史実は、今もアメリカ国民に興味深く語り継がれております。

## 三加番の設置は「慶安の変」が原因

加番とは今日で言えば「警察署」にあたり、駿府城を警護する武士たちの詰所を言います。

江戸幕府では二条城、大阪城、駿府城に「定番」が置かれ、これに加勢して城を警護する役を加番と呼んでいました。

私達駿府の街には、寛永9年(1632)に先ず紺屋町に一加番屋敷がおかれ、続いて同年、二加番屋敷として安西3丁目に置かれ、夫々、紺屋町加番、安西加番と云われ、2000

3000坪の広大な敷地を所有していたのでした。

刃が慶安4年(1651)、由比正雪が丸橋忠弥らと図つて幕府転覆を試みたのでありました。これを日本史では「慶安の変」と呼んでおります。

この事件を契機に幕府は三つ目の加番として、東草深(草深御門前)に三加番を設置したのでありました。またその際、一加番を鷹匠町(横内御門前)、二加番を西草深町(四足御門前)に移設させたのでありました。

各加番には、加番頭の下に与力10人、同心50人が揃つており、一時は江戸から駿府勤番として1000人以上が組織されていました。

また理由は解りませんが、夫々の加番には「お稻荷さん」が祀られておりました、そのため今でも加番には稲荷神社が鎮座しております。

一加番……鷹匠一丁目8・5  
二加番……西草深町四  
三加番……東草深町十一

## 一寸一言 私の雑記帳から

### 地球が生れて46億年

「地球が生れて46億年」、この事については最近何かとテレビ画面に現れ、ご記憶の方も多いでしょう。しかし「億年」とは遙かに想像しがたく殆どの方には想像つかない数字でしょうが、今月は「地球史」の概要を記して参ります。

地球の誕生……46億年前

三葉虫……5億年前

アンモナイト……4億年前

ゴキブリ……3億年前

恐竜の全盛期……1億年前

北京原人……50万年前

人類の誕生……20万年前、とはいえ凡そ10万年前にアフリカを起源として人類は地球全体に広がっていきました。

恐らく学校の授業では年代をそのまま生徒に記憶させるでしょうが、率直に言つて何も面白くないし、実感しません。

そこで次のように考えれば、46億年が如何に遠大なものか理解できるでしょう。

地球の誕生日を仮に1月1日午前0時と致します、その尺度で計算すると、地球

で最初にお目見えした生物である「三葉虫」の誕生が11月22日、お馴染みの「ゴキブリ」は12月7日、「恐竜」の全盛期が12月24日、そして人類の誕生(20万年前)は1月24日、そして大晦日の午後11時37分、ざーと下がって大晦日の午後11時37分、既に除夜の鐘が鳴り響いております。更にわが国が大陸から分断されて「島国」になったのは午後11時58分51秒、登呂遺跡はその一分後の59分51秒、そして人生「100年」も地球の歴史からみれば僅か0・5秒にしか過ぎないのではありません。

以上、私の「地球史の読み方」でした。



## 彩時記 恵方巻で福を巻き込む

立春の前日は節分。最近では豆まきだけではなく、「恵方巻」という太巻き寿司をかじる新しい習慣が定着しつつあります。もともとは、江戸時代末期の大阪商人たちが、商売繁盛を願って巻き寿司をかじったのがはじまり。そして大正時代には大阪の花柳界で、節分におしんこをのり巻きにして、恵方にむかって食べるという遊びが始まりました。

これに目をつけたのがお寿司屋さん。2月はお正月も終わり、客足が減る時期です。そこで客寄せのために、昭和初期に「恵方に向けて、無言で巻き寿司をまるかぶりすれば、その年は幸運に恵まれる」という内容のチラシを配布したといわれています。現在のブームのはじまりは、平成元年にコンビニエンスストアで売られるようになってから。

「恵方巻」のご利益の真偽のほどはさておき、吉方向に向けて家族みんなでのり巻きをかじるのは、なかなか楽しいイベントです。ちなみに今年の恵方は東北東だそうです。

## 『天野進吾』の歴史講座

町内会の集会、サークル活動などに天野進吾を呼んでみませんか。大変ありがたいことにこのSHINGO・SCOPEの郷土史が好評を頂いております。どうぞ、お気軽にお声掛けください。